



ハイブリッド型授業の意味

校長 大島 一浩

先月は4日より、ハイブリッド型の授業を実施しました。児童・生徒が「学校で授業に参加する」または「オンラインで授業に参加する」を選択できるようにしていました。4月より延期されていた離任式もハイブリッド型で行いました。

この授業形式については、授業を行う側も、授業を受ける側にもたくさんの課題が見つかりました。しかしこれらは、やってみたからわかったことが多く、実際に始めなければ、わからないままでした。校内で試行錯誤して、欠点を改善しながらの毎日でした。「できそうなところから、まずやってみて、課題を見付け、よくなかったところを改善・修正する」というプロセスを繰り返していくことで、内容を充実させていく作業でした。今でも満足いくものがきちんとできているわけではありません。

これまで、学校というところは、最初に全体の計画や完成形を決定してから、それに向けて、手順を考え進めていく手法が当たり前でしたが、今回はこの方法は採用できませんでした。とにかく「始める」ことが急務でした。

ソフトウェアやシステム開発に「アジャイル」という用語があります。これは、計画段階では、緻密な仕様ではなく、大まかな計画だけを決めます。小さな単位で、できそうな部分のテストを繰り返しながら開発を進めていくという方法です。詳細な完成形を決めないことで臨機応変に修正・対応できることが長所です。

今回のハイブリッド型の授業への取り組みは、まさにこの考えをもとに、学校で取り組んでいると感じています。従来の学校のように、完成形への検討を重ねてから、決断して実行に移すのでは、時間とともに前提条件が変わっていくような変化の激しい社会では、結局動きが悪くなっていくだけです。

そういえば、新学習指導要領の評価の観点の1つに、新しく「主体的に学習に取り組む態度」が取り入れられました。これは児童・生徒が自らの学習を、粘り強く、調整していく様子进行评估していくのですが、ここにも、考え方の共通点を感じています。「たくさん失敗して、方向転換して、正しい方向に」という方法は、失敗を許容する文化が必要ですが、もともと学校というところは、失敗をきっかけに成長していく場所だったはずです。

ハイブリッド型の授業の導入は、授業形態そのものだけでなく、学校のシステムを考える意味でも、新しい風を吹かせてくれています。



【心も身体も健康に過ごそう】

小、中学校とも、10月の生活目標は「健康」に重点を置いています。新学期が始まって1カ月、全体的に落ち着いて生活できていますが、学校生活アンケートからもコロナ禍での生活で少し疲れが見られます。食事、睡眠、運動をバランスよくとり、心身ともに健康に過ごせるよう声かけをしていきます。10月29、30日の学習成果発表会（舞台発表の部）に向けて、意欲的に練習に取り組んでほしいと思います。

中学校では、お台場学園の特色でもある防災 Jr. Team の訓練を行いました。「自分たちの街は自分たちで守る」の精神のもと、各班に分かれて炊き出し配給訓練、救命救急訓練、マンホールトイレの設営訓練を実施しました。芝浦港南総合支所と消防署の方々から熱心にご指導いただき、生徒は一生懸命取り組んでいました。今月の港区総合防災訓練に向けて、「自助・共助」の精神をより高めていけるよう訓練をしていきます。

（生活指導主任 内藤 真由子・青山 麻希）

第6学年より

先月の9月16日(木)に水泳記録会がありました。小学校生活で学んだ水泳学習の集大成として、一人一種目を選択して、レースに出場しました。種目は、①25m 自由形②25m 平泳ぎ③50m 自由形④50m 平泳ぎの4種目です。6年生は、一人一人が真剣な表情でレースに臨み、全力で泳ぐことができました。例年とは異なり、声を出して応援することはできませんでしたが、レースを終えた友達への拍手がプール全体に響き渡っていました。

そして、今月は、運動記録会や学習成果発表会(舞台発表の部)が予定されています。

運動記録会では、陸上運動系の学習成果を発揮する絶好の機会となります。全員が、100m 走とリレーに出場し、4種目(①50m ハードル②ソフトボール投げ③走り幅跳び④走り高跳び)の中から1種目を選択して出場します。自分のベスト記録を目指して、日々の体育の授業では運動のポイントやコツを見つけながら、工夫して練習する6年生の姿があります。10月5日の本番では、保護者の皆様の見守る中、6年生のたくましくなった姿をご覧いただけたと思います。

今月末には、学習成果発表会(舞台発表の部)があります。6年生は台本を渡す前から、『心をついに』『全力で』『楽しく』『個性を生かして』『成功を目指して』『思い出に残るよう』頑張りたい。」と語っており、最高学年として迎える大切な行事への意気込みを感じていました。今月から、オーディションで決定した役の台詞や振り付けを考えて、よりよい舞台発表ができるように一致団結して取り組んで参ります。

これらの行事を通して学び、成長していく6年生と共に、担任一同卒業まで全力で走り抜きます。(第6学年担任)

委員会活動の紹介:給食委員会

給食委員会は、児童・生徒が食に関する知識や食事のマナーを身に付け、よりよい給食時間を過ごせるよう、責任をもって仕事に取り組んでいます。小学校給食委員会では毎月の給食目標に関するポスターを作成し、ランチルームに掲示しています。また、ランチルームにある栄養黑板に、毎日の給食に使われる食材を、栄養素の働きごとに「赤」「黄」「緑」の3つの色に分類して表示し、給食の栄養についてお知らせしています。

中学校給食委員会では給食委員会だより「Lunch Times」を発行しています。行事食や旬の食べ物など、食に興味をもってもらえるような記事を考え、発行しています。他の活動として、毎日の給食献立の紹介、リクエスト給食のアンケート用紙の配布・回収・集計を行っています。9月の給食では中学生がリクエストをした「磯和え」、「みそラーメン」、「鶏肉のから揚げ」が給食に提供されました。給食委員会は、今後も食に関する情報を発信し、給食の時間を有意義に過ごしてもらえよう、積極的に活動していきます。

(小学校担当 駒田 直子・平井 友貴 中学校担当 青山 麻希)

【10月の主な行事】

- | | |
|--------|----------------------|
| 1日(金) | 都民の日 |
| 2日(土) | 開校記念日 |
| 4日(月) | 開校記念集会 |
| 16日(土) | 進路説明会(中学校) |
| | 港区総合防災訓練 |
| 29日(金) | 学習成果発表会 舞台の部 児童生徒鑑賞日 |
| 30日(土) | 学習成果発表会 舞台の部 保護者鑑賞日 |

【スクールカウンセラー 相談曜日】

- 青木 理恵子 火曜日(小学校)
- 奥野 典子 金曜日(小・中学校)
- 原 由美子 月曜日(中学校)

電話連絡先

- 小学校 03-5500-2572
- 中学校 03-5500-2575



11/2(火)に「学校運営協議会」が行われます。傍聴を希望される方は、10/25(月)までに、本校副校長まで申し出てください。